

事務連絡
平成29年3月31日

福岡県農林水産部経営技術支援課長 殿
佐賀県農林水産部農産課長 殿
長崎県農林部農産園芸課長 殿
熊本県農林水産部生産局農業技術課長 殿
大分県農林水産部地域農業振興課長 殿
宮崎県農政水産部農業経営支援課長 殿
鹿児島県農政部経営技術課長 殿

九州農政局生産部生産技術環境課長

降ひょう・強風等に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について

平成29年3月31日福岡管区気象台発表の「落雷と降ひょうに関する九州北部地方（山口県を含む）気象情報 第1号」によりますと、九州北部地方の上空およそ5500メートル付近には、氷点下30度以下の寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となる見込みであり、4月1日昼前から2日にかけて、局地的に積乱雲が発生し、落雷や降ひょう、突風、急な強い雨のおそれがあります。

つきましては、関係機関や関係団体との連携を密にいただき、農作物や農業施設の管理などに注意をお願いします。

<参考>

「農業技術の基本指針(平成28年改定)」(平成28年3月公表)より抜粋

○ひょう害対策

【野菜】

被害発生時には、欠株の補植、追肥等を的確に行い、生育の回復に努める。また、折損した茎葉の除去と適切な薬剤散布を行い、病害の発生を防止する。

【果樹】

ひょう害の発生しやすい地域においては、多目的防災網を設置するなど、恒常的な対策を講じ、被害の発生を未然に防止する。また、被害を受けた場合には、枝葉の損傷程度に応じて適切な薬剤散布を行い、病害の発生を防止する。

【花き】

被害発生時には、欠株の移植、追肥等を的確に行い生育の回復に努める。また、折損した茎葉の除去と薬剤散布を的確に行い、病害の発生を防止する。

○園芸用施設の風害等対策

育苗施設、栽培施設及び集出荷場の施設の破損及び倒壊を防止するため、施設の点検に努め、必要に応じて補強・破損箇所の補修及びパイプの撤去等を行う。なお、新規に施設を設置する場合には、耐風・耐雪面からみた安全性の確保に十分留意する。

施設については、強風時に周辺の構築物、道路等からの飛来物により損害を受ける場合も多いので、施設周辺の清掃、防風網の設置等による防風対策を講ずる。また、簡易な栽培施設については、施設内作物の収穫後は、被覆資材の早期除去に努める。

九州農政局生産部生産技術環境課

農政調整官 齊藤

技術係 吉田

(直通) 096-211-9111

(内線 4531、4528)